

No.1956

3月28日例会 プログラム 「ものづくり岡山をめざして」 (財)岡山県産業振興財団 理事長 青井賢平様

4月4日例会 プログラム 「自然科学あれこれ」 宮原 浩平君

3月28日のメニュー ・小エビのケンチン煮 ・紅白ダイコン生酢 ・ほうれん草の白和え ・肉じゃが ・イワシの竜田揚げ ・サラダうどん ・鶏肉と山菜ごはん ・コーヒー

前回(3月21日)例会記録

出席報告	会員総数	36名(内出席規定適用免除者2名)	出席者数	28名	欠席者数	6名	出席率	82.35%	前回補正率	82.35%
	前回補正者	小野君 小野田君 高橋(征)君								
	欠席者	藤原君 花岡君 井上君 三宅(孝)君 中山君 大久保君								

来訪者 岡本 和徳様(玉野市教育委員会 教育長)

会長挨拶

本日は、玉野市教育委員会教育長の岡本和徳様にお越し頂いております。ようこそいらっしゃいました。後ほど卓話を宜しくお願い致します。

本日は、メタボリックシンドロームについてお話ししてみます。外見上ひどく肥満していなくても、内臓脂肪が蓄積しますと、血圧や糖値、中性脂肪、コレステロール等が普通より高めになり、動脈硬化が進み、脳梗塞や心筋梗塞などを引き起こしやすくなります。このような状態をメタボリックシンドロームと言います。今年4月から、従来の老人健康法に基づく基本健康診断に代わり、40歳~74歳までを対象に、メタボリックシンドロームに着目した新たな特定診断・特定保健指導が実施されます。厚生労働省は生活習慣病とその予備軍を減らし、医療費の削減をもくろんでいますが、この皮算用に付きましては大いに疑問視されています。内臓脂肪の量はウエストサイズに反映し易い為、内臓脂肪の目安として腹囲が取り上げられました。ウエストが男性で85cm以上、女性で90cm以上は内臓脂肪型肥満の可能性が大きい。ウエストサイズがオーバーして、高血圧・糖尿病・高脂血症の3項目の内、2項目以上があてはまる場合、教育指導を受けます。心当たりの方は、メタボリックシンドロームをセルフチェックしてみてください。

会長報告

- ・ 森下ガバナー事務所より宮原君に新入会員スポンサーピンが届きました。
- ・ 2008年ロサンゼルス国際大会推進委員会より6月開催のロサンゼルスR I国際大会への参加登録について要請が再度届いております。ご参加頂ける方はお申し出下さい。(3月末が締切りです)



幹事報告

- ・ 森下ガバナー事務所より『友』インターネット速報No.327が届いています。
- ・ (財)米山梅吉記念館より『米山梅吉記念館 春季例祭』の案内と館報が届いています。
- ・ 森下ガバナー事務所より『ハイライトよねやま』97が届いています。
- ・ 岡山県知事石井正弘様より『方舟のモニュメント』寄付について受納の通知が参りました。
- ・ 他クラブの週報・例会変更通知につきましては閲覧いたします。

スマイル・ボックス

- ・ 松尾会長、仲田君、石川君、藤田君、島田君 - 岡本和徳様、よくいらっしゃいました。
- ・ 山田(孝)君 - 玉野ゴルフクラブ「難波プレス杯」で優勝しました。20年ぶり? ネット59 13アンダー
- ・ 岡君 - 歓送迎会ありがとうございました。石川さんお世話になりました。
- ・ 白石君 - 三宅(保)さん、有難うございました。
- ・ 植田君 - 先週、宮原さんありがとうございました。バッチ忘れ。
- ・ 藤田君 - 三宅(照)さんにお世話になりました。
- ・ 島田君 - 藤田さん、花祭りのパンフレットお世話になりました。遅刻。

- ・山田(次)君 - 何も云わずに一冊。
- ・小野田君 - 結婚記念月。 前回欠席。
- ・大西君 - 遅刻。
- ・立石君 - 本日早退。
- ・林君 - 早退。
- ・高橋(征)君 - 前回欠席。

プログラム 「教育のながれ」 玉野市教育委員会 教育長 岡本和徳様

山田(次)君より岡本様の紹介

岡本和徳様 (おかもと かずのり) 現玉野市教育委員会 教育長

経歴 岡山大学卒業

長期にわたり玉野地区中学校の音楽の先生を務められる。
 宇野中学校、荘内中学校の校長先生を経て平成 18 年 3 月に退職。
 その後 1 年間、生涯学習センターのミネルバに務められる。
 平成 19 年 4 月に、玉野市教育委員会教育長に就任され現在に至る。



岡本教育長より

平素は皆様方におかれましては玉野市教育の為に温かいご理解、ご尽力を賜っております事、この場をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。

今日は、温かい日になっておりますが、2 月頃、若い方達が春が訪れるのは、「光と水と空気」のどれが順番に訪れるかを聞いてみますと、半分の方位しかきちんと答えられません。理科とも関係するのですが、光が 2 月頃訪れ、光で空気が暖まり、ちょうど今の春の様な暖かさの春一番が吹きます。

それから「春の小川はさらさらゆくよ」という歌がありますが、水が緩んで春が訪れるという順番になります。実は前職の頃、音楽の先生の採用試験に、課題曲として、「早春賦」というこういった歌詞(上図)のテストを致しますと、半分の受験者は、あがっているのと歌詞しか書いておりませんので、“春、花の実の”と歌ってしまいます。結局、“春、花の実の”の方が現代的ですが、実は“春は、名のみ、風の寒さや”と歌います。名のみとは、昔の人達が、春が待ち遠しいなど、自然に対する色々な思いが入った部分ですが、そういった認識が今の時代にだんだん無くなりつつあるのではと思います。

は	る	は	な
の	み	の	か
ぜ	の	さ	む
さ	や		

ある方が、家庭の役割というのは、何でしょうかと聞かれました。一つ目は、価値観を形成する場ではないかと思えます。昔の日本では、こんな事したら恥ずかしいという様な、“恥じる文化”とも言われておりましたが、これも人間として生きて行く上で、どういう風な価値観を持って生きて行くかを「家」の中で教えて貰っていたのではないのでしょうか。二つ目の役割は、対人関係、「人と人との関わり」を学ぶ場、例えば「お父さんとお母さんの関係」「親と子の関係」「兄弟の関係」「祖父母との関係」などになると思います。私も 5 人兄弟でしたので、小さい頃の多々あった兄弟げんかを覚えております。2 番目でしたので、チャンネル争いは私の見たい番組でした。本当は見たい番組なので楽しい筈ですが、いやな感じがして楽しくテレビが見れなかったのを覚えております。そういった、兄弟の中でも昔は人間関係を学ぶ事が出来ました。3 つ目は、日本の文化を伝承する場ではないかと思えます。例えば、現在はテレビなどがあるので少なくなりましたが、親から昔話を聞いてみたり、小学生位になりますと、お父さんから将棋を教わってみたりと言う事があったと思います。お茶、お花などもですが、そういった中から日本の良さを学んでいったのではないかと思います。私も 20 年程、荘内の方に住んでいたのですが、近所を見ると“柿の木”が沢山ありました。柿のシーズンが終わる頃、どの木にも柿が一つだけ残っております。何故かを母親に聞くと「残すようになってるんじゃ」と言う事でしたが、実は「残し柿」と言って、柿を全部人間が食べるのではなく、鳥たちの為に一つだけ残してあげるといふ自然に対する心遣いであると聞きました。今、残し柿をしているのは、八浜でも一か所だけ見ました。4 つ目は、命の尊さでもあったと思います。思い起こせば、一番下の弟が生まれた時、産婆さんが家に来て出産があり、祖母が家で亡くなるなど、面と向かって家の中で命の尊さを学んだと思います。今は、生まれるのも病院、亡くなるのも病院と、なかなか子供達はその場に接する事は無くなりました。時代の流れだと思えますが、核家族化、グローバル化、価値観の多様化などと言われておりますが、私が思うに、価値観のグローバル化はあっても良いと思うのですが、現在は価値観の喪失になってしまっているところがあるのかなと感じております。

では今、学校がどうなっているかという事ですが、私が教員になった時は、2 つの役割がはっきり決まっておりました。1 つ目は「社会性を身に付けるところ」、2 つ目は、「勉強するところ」です。今は、その 2 つプラス一番にされているのが、「子供達にとって安全で安心な場である事」です。登下校の危険が増え、地域の方の協力も得ておりますが、先日、文科省の方がみえて、「教育長さん何故、小学校で子供達を残して勉強させないのですか？」と質問を受けました。学校側はそうしたいのですが、先ほどの「安全、安心」の関係で子供達を別々に下校させられない状況です。又、子供達の体力が無くなった、人間関係が出来ていないなどもあります。子供達は勉強をしたい、理解したいと思っていますし、教員も教えたい、伝えたいと思っております。最後は子供達の夢を援助するのが学校の 1 つの役割だと思います。

玉野市としての施策と致しましては、・小学校 2 年生で 35 人学級を実施・小 1 グッドスタート・小学校で 30 人以上の学級で、国語・算数については、少人数指導を行う・発達障害支援員を 27 名に増員する・地域に開かれた学校づくり・体育館など施設の耐震問題に取り組む・玉野市立商業高校のスーパー専門学校としての地域に根ざした活動を行う・朝読書・読み聞かせ・地域子供学級・幼保一元化などを進めて参ります。 具体策は省略させていただきます。会報委員

平成 22 年に国民文化祭がありますが、将来の子供達の為に今後のご理解とご協力を宜しくお願い致します。